

平成27年度

# 事業報告書

自 27 年 4 月 1 日

至 28 年 3 月 31 日

公益財団法人南丹市情報センター

## 平成27年度 事業報告

平成27年度で地域情報通信ネットワーク施設の2年間の指定管理期間が終了し、新たに平成28年度から3年間の指定管理協定を締結しました。また、国際交流会館は3年間の指定管理期間の2年目として、両施設の管理運営を実施しました。

自主放送番組制作業務では、地域や行政、教育機関等と連携して情報収集にあたり、人と人との絆を結ぶ、また地域の活性化につながる番組作りに取り組みました。再編となる美山町の各小学校を取材し伝えると共に美山小学校の特集を制作しました。臨場感あふれる生中継番組の定着に取り組みました。ニュース番組の週2回放送を開始し、より深く、より早く届けるニュース番組として内容を充実させました。

施設管理業務では、平成24年度から始まった園部地域F T T H化事業の全ての工事が完了し、南丹市全域で光ファイバー方式（F T T H）の接続になりました。これにより全ての家庭で通信速度100Mbpsの快適なインターネット環境を利用できるようになりました。また園部地域ではB S / C S 放送（同一周波数パススルー方式）のサービスを開始しました。

加入管理業務では、減少傾向にあるインターネット加入者の加入促進策として、国の地方創生交付金を活用した「南丹市高速インターネットスタート拡大事業」に取り組みました。初期費用相当分を南丹市商工会の商品券で支給するもので、9か月の受付期間中に計画的な広報活動を実施し187件の新規加入を獲得しました。

国際交流会館管理運營業務では、利用者が安心して施設を利用できるよう、法定点検等の保守管理を的確に実施し、計画的な整備、修繕に取り組みました。また、南丹市や京都府が主催する南丹工芸文化祭、京都丹波美術工芸教育展をはじめ、行政機関や各種団体への開催協力を行いました。

地域活性化支援事業では、東京五輪・パラリンピック2020に向けて南丹市内のスポーツ活動を支援するため、法人主催の少年サッカー大会を開催しました。

## 1. 自主放送番組制作業務

### (1) 自主放送

ニュースや企画番組、学校番組等の制作において地域や学校、南丹市、集落支援員、京都府など各組織と連携して情報収集及び取材にあたり、人と人との絆を結ぶ、また地域の活性化につながる番組作りに取り組みました。

### (2) ニュースの速報体制を充実させた番組編成

これまで1週間の出来事をまとめて週1回放送してきたニュース番組を、10月から週2回放送（水曜、土曜）にリニューアルしました。ニュース内容をしっかり把握して丁寧な取材を行い、より早く視聴者に届けられるニュース番組として内容を充実させました。

### (3) 生中継放送

南丹市議会定例会本会議、京都南丹市花火大会、南丹市成人式、少年サッカー大会等を生中継で放送しました。「東京五輪の開催決定を機にスポーツで活躍する若者たちを紹介すること」や「生中継への新しい挑戦」を年度目標に掲げ、中継車を活用して限られた機材や人員の中で工夫を凝らし、市内で今行われている行事を現場から中継し臨場感をもって伝える生放送番組に積極的に取り組みました。

### (4) 防災への取り組み及び災害発生時の広報、報道

災害時の緊急放送において、映像、音声を活用した情報伝達ができるよう、市関係課及び外部団体と調整を進めました。市には河川監視等が可能な情報カメラの整備を提案し説明を行いました。他の事業（Wi-Fiスポット整備）との兼ね合いで先送りとなりました。

交通関係団体から直接情報を受け取るための調整を行いました。それにより西日本高速道路（NEXCO 西日本）から道路通行止め情報、京都国道事務所から凍結時の道路状況等の配信を受け、文字放送で広報できるようになりました。

## (5) 小学校再編特別番組の制作

小学校再編において、園部・八木地域の新小学校の開校、旧小学校の跡地利用としての地域の取り組みなど積極的に取材し放送しました。

美山地域の5小学校では、年間を通じて学校行事や地域の取り組みを放送しました。美山小学校開校の特別番組は、旧小学校の取り組みや校内の風景、歴史等を、かかわってきた地域の人達の想いやエピソードを交えながら編集し、平成28年5月に放送しました。

## (6) 企画力・制作力の向上

なんたんテレビへの期待や住民のニーズが年々高まっています。市民活動、地域活動、またその思いに寄り添い、取材し、家族そろってみることのできる番組や視聴者の心を豊かにするような番組作りに取り組みました。企画番組では、番組を通じてメッセージが伝えられる工夫を、ニュース番組ではインタビューなども盛り込み、正確にわかりやすく伝える工夫をしました。

## (7) 広域的な取り組み

隣接する京丹波町ケーブルテレビとの情報交換及び番組交換、相互協力による広報番組の制作等を積極的に進めました。京都府のメディアネットワーク事業に加盟し、近隣ケーブルテレビ局、ラジオ局、新聞社と意見交換や相互協力のできる関係づくりを進めました。

## (8) 平成27年度の放送番組

### 【自主放送番組】

#### ① もぎたて☆ニュース (ウェンズデー・サタデー) (74本 前年度50本)

□南丹市内や近隣地域のニュース (出来事517本 前年度423本)

□特集 (市民活動や生活に密着した話題)

□知っとく生活情報 (ゲストによる告知、市役所からのお知らせ等)

□じゅういちくん4歳児参観 (保育所4歳児とじゅういちくんのふれあいコーナー)

□おたより □赤ちゃんお祝い情報 (167件 前年度 151件)

② 企画番組

- 園部小学校開校記念番組 「夢 希望 はばたこう 明日へ」
- 園部第二小学校開校記念番組「新しい絆で 輝け地域の宝」
- 八木東小学校開校記念番組 「輝け 八木東小 未来を託して」
- 八木西小学校開校記念番組 「明日に羽ばたけ八木西小 未来を信じて」
- 美山町かやぶきの里 北村への想い (京都広報賞知事賞受賞作品)
- 定住促進大作戦 「地域に住むひとが幸せを感じるむらづくり」

③ 生中継 (32本 前年度 28本)

- 南丹市議会定例会本会議 (6・9・12・3月)
- 第1回京都丹波トライアスロン in 南丹大会開会式 (7月4日)
- 第69回京都南丹市花火大会 (8月14日)
- 南丹・船井中学校体育連盟新人戦 バレーボール大会 (9月5日)
- なんたんビートバンドフェスティバル (10月10日)
- 南丹市合唱フェスティバル (11月29日)
- じゅういちくんカップ少年サッカー大会 (12月6日・南丹市情報センター主催)
- 平成28年南丹市成人式 (1月10日)
- 平成28年第1回南丹市議会臨時会 (1月25日)
- 南丹市スポーツ・文化賞表彰式 (2月20日)

④ まちかどぶらっトーク! (4本 前年度5本)

地域の人達、暮らし、宝、地域情報等をレポーターが現地を訪ね紹介。

- 美山町板橋編 □日吉町上胡麻編 □八木町美里編 □園部町竹井編

⑤ 特集番組 (84本 前年度74本)

市内で行われた文化祭や講演会、中・高校生や各種団体の舞台発表や行事、小学校閉校式や閉校に伴う地域行事などを放送。

⑥ 市民の情報広場（11本 前年度10本）

視聴者投稿ビデオにより、地域の伝統行事、レポートの様子等を放送。

⑦ スクールフェイス（148本 前年度170本）

入学式、卒業式、運動会のほか修学旅行や学習発表会など幼・保・小・中学校からの投稿ビデオを編集、放送。

⑧ 協働みつけた！（南丹市企画 広報番組）

南丹市と南丹市まちづくりデザインセンターが協働で企画制作を行う番組。市内を中心とした協働によるまちづくりの事例等を紹介。

⑨ 図書館だより（南丹市立図書館・図書室 広報番組）

一般書と児童書の新刊77冊と各図書館の66行事を紹介。

⑩ まゆまろと京都丹波（京都府南丹広域振興局制作 広報番組）

南丹市を始め、亀岡市、京丹波町の魅力を紹介。

⑪ ふくしの森（社会福祉協議会、地域活動支援センター、福祉施設等の広報番組）

各事業所の活動報告。1月から南丹市障害者就労支援ネットワーク会議を追加。

⑫ JAトピックス（JA京都制作 農業関連情報番組）

園部・八木・日吉支店から営農情報や活動報告などを放送。

⑬ かんたん！体にいいレシピ（南丹市企画 食育番組）

南丹市食生活改善推進員協議会によるレシピ紹介で新たに5品目追加。

⑭ なんとんテレビ学舎（教育委員会企画 家庭学習支援番組）

中学3年生対象の国語・数学・英語の3教科、高校受験対策として新たに国語3講座・英語5講座・数学5講座を再放送と併せて放送。

※南丹市広報番組「南丹市くらしのあんない版」、人権尊重啓発番組「ふれあいひろば」、消防・防災啓発、食育番組等については、ニュース週2回化に伴い、10月から「もぎたてニュース」やテレビ週報で放送。

#### 【文字放送・TV週報】

公共機関・学校・各種団体等からのお知らせを放送。京都府南丹広域振興局、税務署、警察署、消防署など広域の依頼にも対応しました。依頼数が年々増加しています。

文字放送：820件（前年度757件） TV週報：47件（前年度40件）

※緊急情報を含まず

#### 【緊急情報】

南丹市災害対策本部（総務課）との連携により、台風・大雨などの災害情報を提供しました。

#### 【CM放送】

ニュース番組内で4団体のCMを放送しました。

高屋組・あけぼの学園るり溪寮・京都生活協同組合・Z A Q

#### 【公共広告放送】

ニュース番組内で4団体の公共広告を放送しました。

南丹警察署（サーバー犯罪対策）・社会を明るくする運動・赤い羽根共同募金・近畿総合通信局（インターネット・スマートフォンの危険から身を守るための注意喚起）

#### 【年賀広告放送】

なんたんテレビの文字放送枠を利用して南丹市内の団体・企業向けに年賀広告放送を実施しました。南丹市商工会員に案内書類を配布し22団体から応募を受けました。

（放映期間：元日～3日、前年度22団体）

#### 【その他】

- ・南丹市消防団 新成人向け団員募集CM 作成協力
- ・全国女性消防団員活性化ちば大会 事例発表コンテンツ 作成協力

- ・南丹市制施行10周年記念式典ビデオ 制作協力
- ・美山町檜原区 地域観光映像 制作協力
- ・高浜発電所にかかる住民説明会 YouTube 配信用データ 制作協力
- ・情報センターのマスコットキャラクター「じゅういちくん」が多くの地域イベントに出演し、その行事を取材することで広報協力を行いました。(14件)

## 2. 施設管理業務

### (1) テレビ・ラジオ再放送

万全を期した放送受送信設備の保守管理を行い、安定したテレビ・ラジオの再放送を提供しました。

自主放送 1波

なんたんテレビ

地上テレビ放送 8波

NHK総合(京都放送局)・NHK教育・毎日放送・KBS京都・朝日放送・  
テレビ大阪・関西テレビ・読売テレビ

BS放送(トランスモジュレーション方式) 9波

NHK BS1・NHK BSプレミアム・BS日テレ・BS朝日・BS-TBS・  
BSジャパン・BSフジ・BSイレブン・Twe11V

BS/CS放送(同一周波数パススルー方式・園部FTTHエリア)

BS放送 31波 CS放送 54波

FMラジオ放送 4波

FM802・NHKFM・FM大阪・αステーション

### (2) データ放送サービス

なんたんテレビ(11ch)のデータ放送として、地域気象情報、台風等の災害時の緊急情報、地域情報、生活情報、イベント情報、学校からのお知らせ、なんたんテレビ文字ニュース、



京都新聞文字ニュースを提供しました。

### (3) インターネットサービス

光ファイバー方式（F T T H） 通信速度100Mbps

平成26年10月からF T T Hエリアの通信速度を30Mbpsから100Mbpsに増速し、平成27年11月に園部地域F T T H化事業引込宅内工事が完了したことにより、南丹市全域で100Mbpsの快適なインターネット環境を提供しています。

### (4) 施設管理

センター、サブセンター、伝送路等の保守管理体制を整備し安定運用に向け取り組みました。設備故障等により運用に支障が発生した場合には市担当課と連携を図りながら早期復旧に向けた対応を実施しました。各施設、設備、機器類の保守点検を行い、設備更新、機器交換等が必要な場合には対策を提案し、市との協議により更新作業を実施しました。

### (5) 園部地域F T T H化事業の推進及び技術協力

平成24年度から始まった園部地域F T T H化事業については、平成26年10月より加入者宅への光ケーブル引込宅内工事を開始し、平成27年11月に完了しました。H F C幹線等撤去工事、文字放送システム等整備工事も完了しました。

情報センターでは、供用開始後の管理・運営を考慮した設備となるよう提案を行い、工期中は市と一体となって施工業者への指導を行いました。

### (6) 園部地域F T T H化事業の経過

園部地域F T T H化事業に関連する全ての工事が完了しました。(カッコ内は施工業者)

平成24年度

- ① 埋設配管等工事（かんでんエンジニアリング）
- ② サブセンター設置等工事（協和テクノロジズ）

③ センター設置等工事（NTT西日本）

平成25年度

④ 幹線等整備工事（かんでんエンジニアリング）

⑤ センター機器等整備工事（NTTビジネスソリューションズ）

平成26年度

⑥ 引込宅内工事（NTTビジネスソリューションズ）

⑦ 公営住宅引込等工事（かんでんエンジニアリング）

平成27年度

⑧ HFC幹線等撤去工事（日本電通）

⑨ 文字放送システム等整備工事（かんでんエンジニアリング）

（7） 中継車システム

自主放送での生中継番組の定期化をめざし、少人数で効率的な運用ができるよう中継システムの導入に向けた調査や市との協議を行い、4月に中継車を導入しました。今後は中継車を活用した臨場感ある生中継番組の制作に注力します。

（8） 自主放送番組のアーカイブデータ化、アーカイブシステムの導入

自主放送番組の過去の映像は南丹市の無形の資産であり、過去の映像を番組編集に利用する機会が増えています。これまでの既存メディアでの保管では劣化が見られることから、早期に他のメディアへのダビングが必要であり、データ化作業及びシステム導入に向けた調査を行い、計画をまとめ、市へ提案しました。

（9） 議場中継システム

南丹市議会本会議を生中継放送している中継収録システムの老朽化に伴い故障等の不具合が頻発していることから、更新に向けて議会事務局と協議を行い、11月に議会中継システムを更新し、12月議会から運用を開始しました。

#### (10) BS/CS放送（同一周波数パススルー方式）

園部地域F T T H化事業の完了により、12月から園部地域においてBS/CS放送（同一周波数パススルー方式）の提供を開始しました。既設F T T Hエリア（八木・日吉・美山）へのサービス提供については、南丹市全域において早期にサービス提供していきたいという市の課題もあり継続して協議を行っています。

#### (11) 既設F T T HエリアのV-ONU遠隔制御

利用料金の滞納対策に効果のある遠隔制御対応V-ONUが園部地域で導入されました。八木、日吉、美山においては、頻繁に滞納を重ねる利用者宅等で一部利用しています。

既設F T T Hエリア（八木、日吉、美山）全般については、上記（10）と連動しており、早期に機器更新できるよう市と継続して協議を進めます。

#### (12) 自主放送番組の法定同録装置

平成22年の放送法改正により自主放送番組の放送結果を3か月（90日）間保存することが義務付けられています。これに対応するため、自動的に3か月間の映像を録画し、期間が過ぎると自動消去するシステムの導入に向けて市と調整を行い、11月に設置工事が完了し運用を開始しました。

#### (13) 八木サブセンター エアコン更新

八木サブセンターのエアコン更新について、市と協議を行い8月に完了しました。今回の更新により2基のエアコンを交互運転できるよう整備しました。

#### (14) CATV、インターネット利用者へのサービス向上

放送、通信について理解に乏しい方や操作が苦手な方へ丁寧なアドバイスやアフターケアを行い、電話問合せで判断、解決できない案件には速やかに訪問対応を行うなど、利用者の要望に応えました。

(15) 工事件数 (平成27年4月～平成28年3月)

◇新規加入・解約・休止・復旧・移設等 工事数 915件 (前年同期比 57件減)

◇支障移転等による幹線工事数 128件 (前年同期比 3件増)

### 3. 加入管理業務

#### (1) 加入管理

【CATV基本サービス (平成28年3月末)】

◇加入者数 14,013戸

(平成27年3月末 13,891戸/増減数 122戸増)

◇課金対象者数 11,314戸

(平成27年3月末 11,230戸/増減数 84戸増)

【インターネットサービス (平成28年3月末)】

◇加入者数 5,161戸

(平成27年3月末 4,898戸/増減数 263戸増)

◇課金対象者数 3,270戸

(平成27年3月末 3,207戸/増減数 63戸増)

【BSプラン (平成28年3月末)】

◇課金対象者数 335戸

(平成27年3月末 402戸/増減数 67戸減)

◇STB設置台数 381台

(平成27年3月末 465台/増減数 84台減)

CATV課金対象者数について、園部町で103戸、八木町で13戸、日吉町で1戸増加しているが、美山町では33戸の減少となりました。増加の要因として、園部地域のFTT

H化事業で加入情報の登録漏れによる対応を実施したことや、集合住宅の課金数が増加したことによるものです。

インターネット課金対象者数では、園部町で33戸、日吉町で35戸、美山町で26戸増加しましたが、八木町では31戸の減少となりました。増加の要因として、国の地方創生交付金を活用した「南丹市高速インターネットスタート拡大事業」を実施したことにより一定の成果を得ることができました。

また、BSプランについては、園部地域FTTH化事業に伴い、BSプランに加入しなくてもテレビで直接視聴できるBS/CS放送（同一周波数パススルー方式）の提供を開始したことにより、課金対象者数が67戸減少しました。

## （２）CATV加入促進

現サービスの向上、充実が必要であり、自主放送でのニュース番組の週2回化や生中継番組を増やし、地域情報発信の充実を図りました。

CATV加入率の低い八木地域については、自主放送の魅力を知ってもらうため、なんとんテレビを常時放映するテレビを設置できるよう、公共施設（病院等）と交渉しています。

園部地域ではFTTH化に伴いBS/CS放送（同一周波数パススルー方式）の提供を開始し、サービス内容の拡充を図りました。他3町（八木町、日吉町、美山町）についても速やかに開始できるよう、引き続き市と協議を継続します。

## （３）インターネット加入促進

南丹市の業務委託を受け、国の地方創生交付金を活用した「南丹市高速インターネットスタート拡大事業」を実施しました。

この事業では、4月～12月の受付期間に、インターネットの新規加入された一般加入者に対し、生活支援と地域消費喚起を目的として、初期費用相当分を南丹市商工会の商品券で支給しました。

広報活動として、4月、7月、10月に南丹市全戸にチラシを配布しました。6月、8月、

11月にはCATVのみの加入者に対しサービス案内のDMを送りました。また、園部町、日吉町、八木町で開催されたイベントにPRブースを設け、主にインターネットに関する説明やチラシの配布等を行いました。

#### (4) 集合住宅への取り組み

集合住宅に対しての加入促進施策は、市との協議において、公平性を欠く（特定の所有者への便宜供与である）という考え方により実現に至っていません。加入者を増やすためには集合住宅への対策を検討する必要があり、引き続き市に提案し、協議を行います。

#### (5) 利用料金の滞納徴収

徴収計画に基づき、6月と11月の2回、催告通知及び過年度滞納分の請求を実施しました。連絡が取れない等の悪質な滞納者については、停止予告及び停止決定通知書を送付して対応しました。平成27年度は園部地域FTTH化事業に伴う加入者情報の現地確認作業等があり、停止に関する業務は1回のみの実施となりました。

◇CATV利用料	現年度収納率	98.4%	(165,532,900円)
	過年度滞納分収納率	47.6%	(2,488,555円)
◇インターネット利用料	現年度収納率	99.7%	(114,780,220円)
	過年度滞納分収納率	80.4%	(268,360円)

#### (6) シニアパソコン講座

初心者を対象とした高齢者向けパソコン講座を開催しました。ワードを使用した年賀状づくりの講座を11月に開催し6名が受講しました。また、エクセルの表計算から見栄えのある表作り（かんたん家計簿づくり）まで、エクセルの基礎を内容とした講座を2月に開催し9名が受講しました。

#### 4. 南丹市国際交流会館管理運営業務

【利用状況（平成28年3月末）】

◇利用回数 1,793回（前年度 1,650回／ 143回増）

◇利用人数 35,953人（前年度29,758人／6,195人増）

##### （1） 国際交流会館の利用促進

平成27年度は前年度を上回る利用状況となりましたが、特別な利用促進策は実施できませんでした。

平成28年4月から園部公民館大ホールの利用停止、また平成29年4月から園部公民館会議室等の利用停止が決定しており、一部利用者の予約が流れてくることが予想されるため、国際交流会館のホール予約に混乱が起これないように確認作業を的確に行っています。

##### （2） 国際交流事業

京都府や南丹市が関わる南丹工芸文化祭、京都丹波美術工芸教育展をはじめ、丹波史談会主催「第四回丹波の文人遺墨展」や南丹市国際交流協会「なんとにあん Kids カーニバル」など、行政機関や各種団体への開催協力を行いました。

また、京都府南丹保健所の実施する乳がん検診の受診による早期発見、治療の啓発（ピンクリボン活動）を筆頭に当館のライトアップによる5件の啓発活動に協力しました。

##### （3） 計画的な施設修繕

法定点検等において指摘される修繕事項について緊急度を判断し、できる限りの改善を図るとともに、正面玄関及びまゆみ橋のタイル修繕、レストラン通用口側塀修繕など安全、美観に関わる修繕を実施しました。また、市と調整の上、会館西側出入口付近の陥没箇所の舗装修繕を行いました。

空調設備の効率的な運転や照明の間引き点灯、不要な照明の消灯など節電及び節約に継続して取り組みました。

## 5. 地域活性化支援事業

### (1) 地域のスポーツ・文化活動を支援・協力

東京五輪・パラリンピック2020に向けて、南丹市内のスポーツ活動を支援するため、法人主催の少年サッカー大会を開催し生中継放送を実施しました。

また、陸上、相撲、トライアスロン、体操、ライフル射撃等、全国、関西、京都府大会等で活躍する南丹市に縁のあるアスリートやチームを取材し、番組で紹介することで、未来のトップアスリートを市民と共に応援しました。

### (2) 教育機関との連携

小学校、中学校、高校、大学、幼稚園、保育所等との連携を深めて情報収集を行い、各校の特色ある取り組みを多数紹介しました。学校からの提供による番組枠を充実させ、より見やすくなるように編成しました。

また、児童・生徒の情報教育に関する施設見学や勤労体験学習、大学生のインターンシップの受け入れ等を行いました。

- ・施設見学 小学校6校、幼稚園1園
- ・職場体験 園部小学校6年生3名
- ・勤労体験 園部中学校2年生2名、八木中学校2年生1名
- ・インターンシップ 京都学園大学2名
- ・ゲストティーチャー派遣（職業人講演） 園部小学校6年生